



合 計	郡 井							
	佐野川村	牧野村	名倉村	日進村	小淵村	澤井村	千木長村	内郷村
同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同
五七八七七	一八三	一〇〇	六三	五八	一〇	二二	七八	七九
五八〇五六	一八二	九七	六二	六〇	六七	四六	九二	一〇
六八四五一	二二七	九〇	〇二	七二	七九	四七	三六	二八
六八七〇〇	三三三	九二	六二	九二	二二	六六	七一	八二
五八三三六	一七四	六七	七一	五九	九九	七八	三七	二二
五七九九九	一七六	〇二	五三	九〇	九〇	七五	七八	二五
六〇九六六	一九三	七九	四三	七〇	七三	四六	七九	七九
五八五五五	一八七	九五	三三	四五	七一	四四	四六	八二
六九三六三	三三三	三六	一七	一四	一三	八九	五八	七〇
六八八八八	三二四	九三	六二	二四	二四	三八	六七	二五
六〇五二八	一〇〇	八五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
七〇四四	七〇	六六	七二	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇

久 津											郡 甲 愛								
青根村	青野原村	鳥屋村	串川村	三ヶ木村	又野村	太井村	中野村	三澤村	湘南村	川尻村	吉野村	與瀬町	小原町	南毛利村	玉川村	外ヶ谷村	煤ヶ谷村	小鮎村	
同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同	同同
三三	六三	八九	九六	三三	一三	五五	七九	五五	八八	八〇	五七	五五	五六	三三	三六	六九	六〇	六五	六五
三六	二六	六〇	三三	八〇	一	六七	三三	七八	八〇	八四	五七	一三	六七	三八	三三	九四	一六	三三	三三
六八	九〇	七〇	四四	七九	三五	五七	六〇	八一	八九	二五	三四	三三	五七	三四	三四	一九	二五	二九	二九
三六	四三	八二	三三	六七	四六	一一	二二	七〇	四一	三三	六八	七九	六六	六四	三〇	二五	二五	三〇	三〇
七一	八二	七九	三七	三五	一一	七九	七一	七三	四六	四三	五七	七一	三三	三三	三三	一九	一八	三九	三九
五九	〇六	八一	八四	八二	一三	四五	三七	八九	二二	六三	九〇	五九	一一	三三	三三	二五	一七	三〇	三〇
八〇	九六	七二	三五	九二	二二	〇四	二二	二二	二二	六八	五七	八一	四四	三三	三三	三〇	二八	三六	三六
七九	一五	八〇	三六	四六	一一	二四	二二	二五	八九	三三	四四	九九	三五	三三	三三	八五	八九	三〇	三〇
四五	一七	八〇	三三	七〇	四四	七八	二六	七三	七〇	九三	七九	六九	二四	三三	三三	一五	一六	三三	三三
六六	二七	二五	四〇	二四	一三	七九	五八	八二	二六	九五	一七	八〇	五五	三三	三三	三三	二八	三三	三三
五七	二六	八七	三三	六八	二六	五六	一〇	九〇	九〇	五七	九六	四六	四六	三三	三三	一五	一八	三〇	三〇
六九	六六	七五	七五	七〇	五七	八二	六九	七三	八四	七六	七三	七三	八三	七〇	六九	六九	七〇	六八	六八
八	〇	二	二	五	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

(第三號)保健戶別調查票 郡

第 號 住 所	氏名年齡		職業		配偶者		家族		高齡者		貧富ノ程度		宗關係		食物		出生		死亡		考備 一衛生蟲ヲ有スル者男 人 女 人				
	年 月 生	年 月 生	主 業	副 業	組内健男	組内健女	未婚者	離婚者	年 月 生	年 月 生	有配偶	無配偶	貧富ノ程度	宗關係	主食物	副食物	嗜好物	出生年 月 年	出生女 年 月 年	死產		死產男 年 月 年	死產女 年 月 年	死亡及續 年死及續 病名 年齡 名稱	年 月 年
	年 月 生	年 月 生			弱男	弱女	弱男	弱女	年 月 生	年 月 生								年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年
	年 月 生	年 月 生			弱男	弱女	弱男	弱女	年 月 生	年 月 生								年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年
	年 月 生	年 月 生			弱男	弱女	弱男	弱女	年 月 生	年 月 生								年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年	年 月 年

(六) 兵庫縣

(一) 大正七年度實行豫算

保健調查費 一、七九〇円

技 手 給 七二〇 一人月給六〇円

書 記 給 四五六 同 三八円

旅 費 三三五

惠 與 費 三四

消 耗 品 費 七二

圖 書 印 刷 費 九〇

通 信 運 搬 費 六〇

雜 費 三三

(二) 調查計畫

調査事項

- 一、生産死亡ニ關スル調査
- 二、乳兒死亡ノ原因調査
- 三、學齡兒童及壯丁ニ關スル調査
- 四、特種疾病ニ關スル調査

保健調査ニ關スル事務ハ之ヲ警察部ノ分掌トシ衛生課ニ於テ掌理セシム

本年度ヨリ新ニ專務職員トシテ技手(醫師)一名書記一名ヲ任命シ其ノ實行ニ着手シツ、アリ、而テ之カ實行ニ就テモ調査事項ノ範圍廣汎ニ亘レルヲ以テ先ツ統計ノ完成ヲ第一着手トシ調査事項ニ關係アル既成統計ハ素ヨリ更ニ進テ諸般ノ資料ヲ蒐集シ茲ニ確實ナル統計的基礎ヲ定メントシ先ツ乳兒死亡及一般生死ニ關スル精細ナル調査ヲ遂ケ漸次諸般ノ細目ニ亘リ調査ノ歩ヲ進メムトス

(三) 着手シタル事業ノ概況

大正元年以降ノ管内各市町村ニ於ケル死亡者死因調査ノ必要ヲ認め各市町村ニ就キ資料ヲ蒐集シ目下統計整理中ニ屬ス

(七) 長崎縣

(一) 大正七年度實行豫算

保健調査費

一、一五〇円

(二) 調査計畫及着手シタル事業ノ概況

一、般的調査

- (イ) 市町村内ニ於ケル死亡者數ヲ病類別並年齢別ニ調査スルコト  
但本項ハ乳兒ノ死亡數ヲ除クコト
  - (ロ) 乳兒ノ死亡數及其ノ病名ヲ調査スルコト  
但五年未滿ヲ乳兒ト見做スコト
  - (ハ) 徴兵検査成績ヲ左ノ區分ニヨリ調査スルコト
- (一) 検査人員

(二) 合格人員

(三) 不合格人員

(不合格ノ原因ヲ調査シ疾病ニ由ルモノハ病名別トスルコト)

以上ハ大正二年ヨリ同六年ニ至ル五ケ年間ノ事項ヲ調査シ既ニ一應ノ報告ヲ得タルニ依リ縣内ニ於ケル最モ死亡率ノ多キ町村若クハ徴兵検査ニ對スル不合格者ノ多キ町村ニ就キ其ノ原因ヲ實地ニ就キ調査セムトス

一、肺デストマ調査

保健調査職員ノ職務章程ハ別紙ノ通りニシテ本年五月三日醫師藥劑師ニ就キ保健調査員九名ヲ任命シ尙衛生課勤務ノ警部二名ニ書記ヲ命シタリ  
長崎縣訓令衛第二一四號

警 察 部

保健調査職員職務章程別紙之通相定メ即日ヨリ之ヲ施行ス

右訓令ス

大正七年四月十日

長崎縣知事 島田剛太郎

保健調査職員職務章程

第一條 警察部衛生課ニ保健調査職員ヲ置ク

第二條 保健調査職員ハ警察部長ノ監督ニ屬シ保健衛生調査ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル

第三條 保健調査職員ハ主事一人調査員若干人助手若干人書記若干人トス

第四條 主事ハ警察部衛生課長ヲ以テ之ニ充ツ

調査員及助手ハ知事之ヲ命ス

書記ハ警察部衛生課ニ屬スル職員ノ中ヨリ知事之ヲ命ス

第五條 主事ハ警察部長ノ命ヲ承ケ保健衛生調査ニ關スル事務ヲ掌理ス

第六條 調査員又ハ助手ハ上司ノ命ヲ承ケ保健調査ノ事務ニ從事ス

第七條 書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

(八) 新 潟 縣

(一) 大正七年度實行豫算

本縣ニ於ケル保健調査費及地方病調査費ハ三千圓ヲ計上シ居ルモ其ノ内容ハ地方病調査費トシテ二千八百圓保健調査費トシテ二百圓ナリ勿論此ノ内譯ハ必要ニ應シ彼是増減シ得ルモノトス

(二) 調査計畫

保健調査事業トシテハ幼兒及乳兒死亡ノ原因調査ヲ山間部、海岸部、平坦部ノ町村ニ於テ豫メ出生死亡ノ割合並徴兵壯丁検査成績ノ良否ヲ參酌シ其ノ良好ナルモノト不良ナルモノト各二ヶ町村宛調査スル方針ナリ

(九) 埼玉縣

保健衛生調査ニ關シテハ本年度ヨリ實施ノ計畫ヲ樹テ豫算ヲ縣會ニ提出シタルニ否決スル所トナリタルモ本年ヨリ乳兒ノ死亡、死産結核患者等ノ調査ヲ爲シ目下材料蒐集中ナリ(調査票様式ハ次ニ掲ク)尙ホ十二指腸蟲病ニ關シテハ縣下各縣立學校生徒ノ蟲卵検査ヲ行ヒツ、アリ

(附) 參考諸表

一年以下乳兒死亡者調査票																						
(1) 番號	(2) 死亡ノ場所	(3) 病名	(4) 死兒生來ノ健否	(5) 保育者ノ別	(6) 死亡ノ年月日	(7) 發病ノ年月日	(8) 出生ノ年月日	(9) 授乳ノ區別	(10) 人工營養及種類	(11) 母ノ健康狀態	(12) 胎内ニ在リシ月數	(13) 胎内ニ在リシ月數及出生後ニ於テ乳母ノ健康ニ關シテノ別	(14) 死兒ノ性別	(15) 死兒ノ身分	(16) 死兒ノ地位	(17) 父母ノ年齢	(18) 職業	(19) 死兒ニ對シテノ療養程度	(20) 死兒ノ生活程度	(21) 死兒ノ生計主母	(22) 住居ノ氏名	
					大正 年 月 日	大正 年 月 日	大正 年 月 日	母乳(充分、普通、不充分)牛乳、コンプレックス					男	女	男	父 歳 母 歳	業	度 療 養 程 度	良	中	下	名 住 居 氏 名
																						不 良

結核患(死)者調査票

(大正 年 月 日調査)

番 號 第	種 類 ノ	町 村 名 住	姓 名	年 齡	年 推 發 日 定 病	職 業	同 病 者 有 無
			女男		年 月 日	家計ノ主ナル職業本 人ノ職業	
					初診 年月日	生 度 活	
					年 月 日		

記載例

- 一、番號ハ患者(死者)一人ニ付一枚ヲ用フルカ故ニ患者(死者)數ニ從ヒ順次記載スルコト
- 一、結核ノ種類ハ肺、腸、喉頭等ノ區別ヲ記載スルコト
- 一、肺炎カタル、肺浸潤、慢性肺炎、慢性肋膜炎、氣管支肺炎、肋膜炎等ヲ診斷ニシテ結核ノ疑アル者ヲモ加フルコト
- 一、姓名ハ例ヘハ花野咲藏ナルトキハ花、咲ト記スルコト但シ「ハ、サ」ト記スルモヨロシ
- 一、(姓名欄ヲ置ケルハ轉寫シタル者アルトキ重復ヲ避クル爲ナリ)
- 一、年齢ハ數ヘ年ニヨルコト
- 一、同病者ノ有無ハ同一家族内ニ現在及既往數年間ニ於ケル同病者ノ有無ヲ記入スルコト
- 一、職業ハ農工商ト大凡ノ區別ニ依ラス成可具體的ニ細別スルコト
- 一、生活程度ハ獨立ノ生計ヲ營ムモノト同居者ナルトナ間ハ該患者ノ生計程度ヲ概觀的ニ上中下等ト記入スルコト

死産調査票

番 號 第	現 住 町 村 名	年 産 日	死 産 日	性 別	父 母 ノ 年 齡	妊 娠 回 數	日 常 生 活 ノ 状 態	妊 娠 中 ノ 生 活 状 態
		大正 年 月 日		男 女 畸 形	父 母 父 母	初 經 回 出 産 回 死 産 回 流 産 回 早 産 回	程 生 度 活	攝 生 良 中 不 良
		妊 娠 月 數		死 兒 分	職 業	生 産 回 死 産 回 流 産 回 早 産 回	上 中 下	
				嫡 出 庶 子 私 生	家 計			

記載例

番號ハ死産一人ニ付一枚ヲ用ヒ取扱順次ニ記載スルコト  
 現住町村名ハ現住地ヲ記載ス轉居直後ノ出生ノ場合ニハ前住居地ヲ併記スルコト  
 年産日ハ産出年月日ヲ記入スルコト  
 死産日ハ死産年月日ヲ記入スルコト  
 性別ハ男、女、畸形ノ別ヲ記入スルコト  
 父母ノ年齢ハ出生時ノ年齢ヲ記入スルコト  
 妊娠回数ハ初産、經産、回産、出産、死産、回産、流産、回産、早産、回産ノ別ヲ記入スルコト  
 日常生活ノ状態ハ初産、經産、回産、出産、死産、回産、流産、回産、早産、回産ノ別ヲ記入スルコト  
 妊娠中ノ生活状態ハ初産、經産、回産、出産、死産、回産、流産、回産、早産、回産ノ別ヲ記入スルコト

(一〇) 群馬縣

(二) 大正七年度實行豫算

保健衛生調査費

五〇〇円

内 譯

俸 給

二四〇円 専屬雇一人

旅 費

一八〇

通信運搬消耗品費

四〇

調査用紙其ノ他雜費

四〇

備考 技師、警察醫、衛生技手ノ出張旅費試驗費等ハ算入セス必要ニヨリ一般豫算ヨリ支出ス  
ルコトアルヘシ

(二) 調査計畫

既往五ヶ年間ノ(イ)死亡率(ロ)徴兵検査合格率ノ最高最低ノ農村ニ就キ左記事項ノ調査ヲナス

(一) 死亡原因調査

(イ) 乳兒幼兒

(ロ) 及其他一般

(二) 寄生蟲調査

(イ) 一般住民

(三) 飲料水検査

(イ) 化學的検査

(ロ) 各井構造ノ適否

(四) 健康診斷

(イ) 學校兒童

(ロ) 一般住民

以上實地ニ就キ調査ス



(一) 千葉縣

(二) 大正七年度實行豫算

地方病調査費豫算調			
款	項	目	節
衛生費	衛生諸費	地方病調査費	
			手當 旅給 諸備 備品 消耗品 通信搬 印刷費 雜費
			當 費 給 費 備 費 品 費 耗 費 通 費 信 費 搬 費 刷 費 費
			二〇五〇〇〇 一三三〇〇〇 五〇〇〇〇 二〇〇〇〇 五〇〇〇〇 一〇〇〇〇 二〇〇〇〇 四八〇〇〇 一、三七二〇〇
			額

(二) 調査計畫

熟議考案中ナリ

(三) 着手ミタル事業ノ概況

十二指腸蟲病調査

調査ノ主旨

本病ハ極メテ慢性ノ經過ヲトルヲ以テ本病ニ感染シタル者ハ或年月間多少健康状態ニ異常アルヲ自覺スルモ其ノ稼業ヲ抛棄スルニ至ラサルヲ以テ醫療ヲ求メス在苜病勢ノ進行ヲ恣ニセシムル傾向アリ從ツテ本病ノ治療ヲ延引ス之レ獨リ患者自身ノ損害ノミナラス其ノ排泄物ノ撒布ト共ニ幾多ノ健康者ニ本病ヲ感染セシメ延テハ國家ノ生産力ヲ削減スルコト甚大ナリ故ニ本病ノ國家經濟上等閑ニ附スヘカラサルヲ曉リ本縣ニ於テハ保健調査ノ第一歩トシテ之カ調査ヲ施行シ其ノ蔓延ノ狀況ヲ詳ニスルト俱ニ其ノ豫防撲滅策ヲ講シツ、アリ抑本病ハ如何ナル土地ニ多ク如何ナル土地ニ少キカ其ノ蔓延ノ程度ハ大ニ地理的關係ヲ有スルモノナルヲ以テ高地、濕地、海岸、原野、谷間等ノ村落ヲ撰ヒ便宜上小學校兒童ニ就テ検査セリ調査開始年度及調査方法

明治四十五年調査ヲ開始セルモ虎列刺病流行ノ爲メ中止シ大正三年ヨリ再ヒ施行ス糞便検査ハ衛生課勤務ノ警察醫之ヲ行フ糞便ヲ送付スヘキ學校及其ノ人員ハ豫メ之ヲ指定シ探便等ニ關スル注意ハ受持教員ヲシテ之ニ當ラシム

豫防撲滅法

檢便ノ成績ハ之ヲ各關係者ニ通知シ帶卵者ニハ驅蟲法ヲ勵行セシム又衛生講話衛生展覽會等ノ機會ニ於テ本病ノ原因感染經路等ニ對スル觀念ノ普及ニ務メツ、アリ而モ便壺及之カ糞便等ニ對スル根本的問題ニ關シテハ今尙考究中ナリ

帶卵者ノ數其ノ職業別及帶卵者ト土地トノ關係ハ別表ニ掲ク

十二指腸蟲卵検査郡別表

郡別	檢便數	帶卵者數	百分率
安房	一、二一八	一四	一・二二
夷隅	七九二	五六	七・〇七
君津	四九九	二〇	四・〇〇
長生	四三〇	七二	一六・七
山武	三三四	九一	二七・二四
市原	六六〇	四四	六・六六

十二指腸蟲卵検査郡別表

郡別	檢便數	帶卵者數	百分率
千代田	三九	一	二・五六
東葛	六一〇	九八	一六・〇六
印旛	六八九	九三	一三・四九
香取	六五五	八四	一二・八二
海上	五五九	四一	七・三三
匝瑳	一四六	一二	八・二一
計	六、六三一	六二六	九・四四

十二指腸蟲卵検査者職業別表

職業別	帶卵者數	總數	百分率
農	四八二	六二六	七六・九九
商	六三	六二六	一〇・〇六
工	三四	六二六	五・四三
漁	一一	六二六	一・七五
官	四	六二六	〇・六四
其	三二	六二六	五・一一

河川沿岸  
高 地  
十二指腸蟲卵検査者ト土地トノ關係  
四三・七六  
一九・二二

高齡者調査

大正三年之カ調査ヲ開始シ豫メ調査事項ヲ指示シ受持巡査ヲシテ實地踏査セシム  
調査ノ主旨

高齡者ノ現在ノ健康狀態生活ノ程度住家ノ方位、特種生活法、強壯法、嗜好物、嫌忌物等ノ關係ヲ調査シ  
長壽ノ所以ヲ探究シ其ノ習フヘキ點ハ廣ク之ヲ縣民ニ實行セシメ健康保全ノ一助トナサシム  
調査ノ結果ハ別表ノ如シ

七拾歲以上高齡者男女郡別比較表

郡別	年齡男女別		人口千ニ對スル比例	人口千ニ對スル比例	人口千ニ對スル比例	人口千ニ對スル比例	人口千ニ對スル比例
	男	女					
安房	三、五二	四、六九	四、九三	二、七九	三、五二	五、二二	〇・〇八
夷隅	一、五〇	九七	三、七三	一、八七	四、四六	〇・一〇	〇・一〇
君津	二、四六	九七	三、八三	二、九〇	五、七四	〇・一四	〇・一四
長生	一、五三	一、八二	三、九七	二、五二	四、四〇	〇・一〇	〇・一〇
計	一、五三	一、八二	三、九七	二、五二	四、四〇	〇・一〇	〇・一〇

八十一歲以上男女郡別比較表

郡名	現住人口	八十一歲以上		現住者千ニ對スル比例	一町村ノ平均數
		男	女		
安房	一七六、三二九	四九八	九三五	八・一二	三三・三
夷隅	一〇一、三七一	二一六	三九一	五・九九	二六・四
君津	一三六、四二四	三八九	六三三	七・四九	二四・九
長生	九四、五三五	一七四	二六六	四・六五	一六・九
山武	一二一、九〇七	二九一	三九〇	五・五九	二一・三
市原	七二、〇三八	一三七	二〇二	四・七一	一六・二
千葉	一〇九、六五九	一四〇	二七二	三・七七	二二・九
計	二、七三三	二、三三一	四、三三四	五・〇三	〇・一七

計	葛			
	東	印	香	海
	飾	飾	取	上
一、三九〇、二七一	一七七、二五三	一三五、二七四	一三八、〇八五	九二、六四四
二、七七〇	二二九	二三〇	二六一	一一九
四、六〇五	三五四	三九七	四三八	二二九
七、三七五	五七三	六二七	六九九	三四八
五、三〇〇	三〇三	五〇一	五〇六	三七六
二、二二	一四〇	二〇二	一七〇	二〇五
				一三九

九四

郡別	有		無	
	未	婚	未	婚
安	一	三	一	七
夷	一	七	一	一
君	一	一	一	一
長	一	一	一	一
山	一	一	一	一
市	一	一	一	一
千	一	一	一	一
東	一	一	一	一
印	一	一	一	一
香	一	一	一	一
海	一	一	一	一
匜	一	一	一	一
計	一、三九〇、二七一	二、七七〇	四、六〇五	七、三七五

八十一歳以上既婚未婚郡別表

百分比	計
〇・四九	三四
九・九五	七、三四〇

郡別	健康状態種別	
	一定ノ職業ニシテ家事ノ手ヲアル者	唯自用ヲ辨スル者
安	一〇	一〇四
夷	五	一三九
君	三	二三一
長	二	一〇一
山	五	一七七
市	二	七五
千	一	一一一
東	一	一四五
印	九	八九
香	三	一六九
海	二	一二五
匜	二	五二
計	一〇九	一五・六八

八十一歳以上高齢者現在健康状態郡別表

九五

八十一歲以上高齡者生活程度郡別表

郡別	種別	生活程度	葛																	
			房	隅	津	生	武	原	業	飾	旂	取	上	嗟						
安	東	上	二〇	三四	三一	三六	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
夷	東	中	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
君	東	下	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
長	東	上	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
山	東	中	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
市	東	下	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
千	東	上	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
東	東	中	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
印	東	下	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
香	東	上	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
海	東	中	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
匪	東	下	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
計			七三八	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二
百分比			九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二

八十一歲以上高齡者住家方位及四圍ノ狀況郡別表

郡別	種別	方位	葛																	
			房	隅	津	生	武	原	業	飾	旂	取	上	嗟						
安	東	東	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
夷	東	南	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
君	東	西	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
長	東	北	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
山	東	東	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
市	東	南	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
千	東	西	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東	東	北	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
印	東	東	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
香	東	南	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
海	東	西	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
匪	東	北	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計			六四八	八三五	二六五	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二	二八二
百分比			八・八七二	一一・四二二	三・六二二	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一

八十一歲以上高齡者特種生活及強壯法郡別表

郡別	種別	特種生活及強壯法											
		早起	冷水摩拭	深呼吸	果實栽培法	謠曲	柔術	大弓馬術	粗食勞働				
安	東	四	六	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
夷	東	二	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一
君	東	三	五	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
長	東	二	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一
山	東	三	五	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
市	東	二	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一
千	東	三	五	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東	東	二	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一
印	東	三	五	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
香	東	二	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一
海	東	三	五	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
匪	東	二	二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計		四	六	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
百分比		八・八七二	一一・四二二	三・六二二	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一	三・八四一

郡別	嫌忌物						
	安房	夷隅	君津	長生	山武	市原	千葉
茶	一	一	二	一	一	一	一
煙草	六四	一〇	四八	五四	一八	一四	二四
酒	七〇	一二	四三	四八	二四	一六	三七
肉類	二八	七	二二	三三	三	四	二三
甘味類				四			五
麵類							
魚類							
辛物類	一〇	六	一五	六六	二六	二	五
餅類							
野菜類							

八十一歳以上高齢者嫌忌物郡別表

百分比	計	葛						
		千葉	東葛	印旛	香取	海上	匝	計
三・七九	一・二二	六	一	一	八	三	五	
一五・二六	四九・一	二六	五〇	二九	六三	一六	二三	
二五・三一	八一・四	三八	七一	六九	八六	三三	二二	
一・八六	六〇	八	五	三	二	一	一	
一八・三一	五八九	一八	八六	四五	三七	五	八	
五・六九	一八三	二	二三	二	五	二	四	
一四・三〇	四五八	二二	四九	六七	四五	七	八	
二・四九	七九	三	二〇	七	一			
一〇・一九	三三八	一七	三〇	九三	三九	二	二	
二・八三	九〇	一	五	四	二			

郡別	嗜好物						
	安房	夷隅	君津	長生	山武	市原	千葉
茶	四八	六	六	六	二	一	二
煙草	六一	四〇	八七	三五	四〇	二	二
酒	一七一	五〇	一二二	五七	六七	二八	二八
肉類	一〇	二	九	六	三	一	一
甘味類	一六六	五〇	八四	三〇	三七	二	二
麵類	二三	四	八	三	四	八	八
魚類	一一九	一三	七六	二三	二	二	八
辛物類	三二	四	三	一	三	六	六
餅類	一四	二	三	二	五	二	二
野菜類	二二	三	一六	三	二	三	三

八十一歳以上高齢者嗜好物郡別表

百分比	計	葛						
		千葉	東葛	印旛	香取	海上	匝	計
二・九九	九六・五四	二二七	三三五	一五五	一五六	四二六	一七四	
九	〇・二八	一	一	一	一	一	一	
一三	〇・四一	四						
二四	〇・七七	七	四	一	一	二	二	
二	〇・三八	四	五	一	二	二	二	
九	〇・二八	五						
三	〇・〇八	一						
四九	一・二五	一六	一	二	一	一	一	

計	郡別											無	一	二	三	四	五	六人以上	
	安房	夷隅	君津	長生	山武	市原	千葉	東葉	印旛	香取	海上								匝葛
六〇九	一七九	六六九	六八九	二八九	四四五	二二二	三三一	三三五	四一四	四四一	一〇〇	一〇	八五五	一九六	二六三	三〇七	二二四	二二五	一九九
一、六四八	一〇〇	一五五	二一九	四三三	一〇九	二二二	三九九	六〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一、六四八	二六三	三〇七	二二四	二二五	一九九	
一、八七五	二六三	一〇〇	二八二	二八九	九〇九	二〇六	八八一	八七	一七四	一七四	一七四	一七四	一、八七五	三〇七	二二四	二二五	一九九	一九九	
一、二二三	二二四	九四	一七〇	七二	八八	二〇三	一三七	二六九	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一、二二三	二二四	九四	一七〇	七二	八八	二〇三
五七四	二二五	六九	六四	二七	一九	二七	三二	三八	六二	六二	六二	六二	五七四	六九	六四	二七	一九	二七	三二
六〇一	一九九	六四	四九	三四	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	六〇一	一九九	六四	四九	三四	一一	一一

八十一歳以上高齢者實子數郡別表

百分比例	計	匝
一〇〇・〇	七、三七五	一九四
一〇〇・〇	七、三七五	一九四

郡別	存		亡		存		亡	
	存	否	存	否	存	否	存	否
安房	一、四三三	六〇七	一、〇二二	四四〇	一、四三三	六〇七	一、〇二二	四四〇
夷隅	六八一	三三九	四一三	三三九	六八一	三三九	四一三	三三九
君津	四四〇	三三九	四一三	三三九	四四〇	三三九	四一三	三三九
長生	六八一	三三九	四一三	三三九	六八一	三三九	四一三	三三九
山武	四四〇	三三九	四一三	三三九	四四〇	三三九	四一三	三三九
市原	六八一	三三九	四一三	三三九	六八一	三三九	四一三	三三九
千葉	四四〇	三三九	四一三	三三九	四四〇	三三九	四一三	三三九
東葉	六八一	三三九	四一三	三三九	六八一	三三九	四一三	三三九
印旛	四四〇	三三九	四一三	三三九	四四〇	三三九	四一三	三三九
香取	六八一	三三九	四一三	三三九	六八一	三三九	四一三	三三九
海上	四四〇	三三九	四一三	三三九	四四〇	三三九	四一三	三三九
匝葛	六八一	三三九	四一三	三三九	六八一	三三九	四一三	三三九

八十一歳以上高齢者父母ノ存否郡別表

百分比例	計	匝	海	香
〇・五六三	六	一	一	一
三・七三四	四〇四	二六	二〇	六四
三・九〇六	四一六	二二	一七	五六
一・二二三	一一〇	一	一	七
〇・八五	九			
〇・四六	五			
五・九一	六三	五	六	
三・〇〇	三二			
〇・三七	四			二
〇・八五	九			

百分比例	八・二六	一一・五九	二二・三五	二五・四二	一五・二一	七・七八	八・一五
------	------	-------	-------	-------	-------	------	------

八十一歳以上高齢者既往ニ於ケル著患ノ有無郡別表

病名	郡別	安房	夷隅	君津	長生	山武	市原	千葉	東葛飾	印旛	香取	海上	匝瑳	計	百分比例
呼吸器病		三	三	六	四	三	二	二	三	三	一	一	一	三〇	五・五二
胃腸病		二〇	二	九	五	五	一	二	九	六	一	三	四	八九	一六・三九
神經病		一	六	二	二	一	一	一	七	三	五	一	二	三六	六・八一
新陳代謝病		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇・〇三
泌尿生殖器病		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇・〇三
循環器病		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇・〇三
五官器病		二〇	一六	二〇	一	一	四	二	一	六	五	二	三	八六	一五・八三
精神病		八	四	二	一	一	一	二	一	一	一	一	一	二四	〇・〇三
子宮病		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七	〇・一三
皮膚筋肉病		四	一	七	三	三	三	一	七	四	五	一	三	四七	八・六五
中風		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	〇・一〇
微毒		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	〇・一〇
疝氣		三	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	二六	四・七九
破傷風		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	〇・〇三
天然痘		五	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	七三	一三・四四
赤痢		二	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一二	二・二一
腸チフス		八	二	二	五	一	一	一	一	一	一	一	一	五八	一〇・六二
計		七八	五四	八七	七三	三六	一五	二〇	四五	三七	四四	二八	二五	五四二	七・三五

コ	レ	ラ	計	七八	五四	八七	七三	三六	一五	二〇	四五	三七	四四	二八	二五	五四二	七・三五
---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	------

日本住血吸蟲病調査

大正三年十月茨城縣北相馬郡ニ於ケル日本住血吸蟲病調査ニ關スル報告發表以來本縣ニ於テモ利根川沿岸ノ東葛飾郡我孫子町田中村等ニアリテモ本病ノ存在ノ有無ヲ調査スヘク企圖セルモ偶ワイル氏病患者頻發シ尙續テ虎列刺病等ノ侵襲ニヨリ開始スルニ至ラサリシモ大正六年東葛飾郡我孫子町田中村富勢村福田村ノ小學校兒童及住民ノ一部ニ付検査セルニ其ノ成績左表ノ如シ

尙是カ豫防撲滅法トシテ一般住民ニ本病ニ關スル知識ノ普及ニ務メ本病ノ傳染經路ヲ教示シ病原蟲ノ侵襲ヲ防キ一面中間宿主ヲ驅除シ帶卵者ニハ野糞ヲ禁シ糞便消毒ヲ勵行シ病毒淵源タル發生地沼澤ノ措置等ニ關シテハ尙益々調査研究ノ歩ヲ進メツ、アリ

日本住血吸蟲病帶卵者町村別表

町村名	檢便總數	帶卵者數	百分率
我孫子町	七九三	一〇	一・二六
富勢村	七〇三	一	〇・一四



計	三、五七七	三七	一〇四
田中村	一、一九三	二五	二〇九
福田村	八八八	一	〇・一一

ワイル氏病調査

本病ハ大正三年十二月山武郡綠海村ニ於テ初メテ發見シ爾來地方病トシテ調査研究ヲ重ヌルニ左表ニ示スカ如クニシテ縣ハ銳意之カ治療ニ努メツ、アリ

調査機關及方法トシテハ患者發生ノ初メニ於テハ主トシテ縣衛生課ニ於テ調査研究シツ、アリシカ罹病者漸次増加シ區域ノ擴大サル、ニ至リ各種方面ノ専門醫師ト互ニ協力研究スル必要ヲ認メ千葉醫學專門學校教授縣立千葉病院醫員ニシテ本病調査ニ關係アル學科擔任者及臨床家其ノ他本病發生地方ニ於ケル開業醫ニ之カ調査ヲ囑託シ大正四年中縣下香取郡中和村山武郡東金町ニ本病ノ調査研究所ヲ設ケ委員ヲシテ交互ニ調査ニ從事セシメ一面各専門的ニ研究ノ結果本病豫防注射液及治療血清ヲ製造シ廣ク罹病者ノ需ニ應スルニ至レリ該豫防注射ハ調査委員直接希望者ニ施行シ治療血清ハ開業醫ノ請求ニ依リ無償交付ス縣内ニ於ケル豫防注射希望者ハ關係警察官署ニ於テ調査シ豫メ所要數量ヲ報告セシメ要求ヲ充ス

豫防注射成績ハ左表ノ如シ

ワイル氏病豫防注射成績表

(大正五年)

町村別	注射人員		反熱局所		休業人員		最長最短		注射後發病人員	注射人員ノ百分率	注射後發病ノ日數		同上死亡	發病人ノ死亡例
	人員	反熱局所	人員	平均	最長	最短	最長	最短						
東金町	四三二	四三	九〇	四五	三〇	一	八	一九三五・八	二五	一	一・三			
豊成村	一九三	一一	一四	二一〇〇	二八	二			五七					
福岡村	四七	一一	二〇	二二五	三	二								
正氣村	五二	一一	四九	四〇	二八	一								
公平村	一	一	一											
成東町	八九	一七	四二	二七	一六	一								
南郷村	一一五	二	二七	一七	一〇	一								
大宮村	一三	一	一〇	三〇	一〇	一								
日向村	一六													
豊岡村	一													
萬歳村	二六九	五三		二五	一〇	一								
八日市場町	三一			二〇	一	三								
須賀村	三一					一								
市川町	三一	一	四			三								

市川町	八幡町	大和町	大森町	瀧郷村	鶴巻村	古城村	日吉村	滑河町	多古町	大和町	八幡村	市川町	注射人員		反熱局		休業人員	平均日數	最數		發病人員
													發	射	發	熱			最	長	
一四五	二〇〇	一三三	二二	二四七	二七二	一八	一四	一六二	二二	一四	一四	一四	二	一	二	二	二	一	一	二	一

ウイルス氏病豫防注射成績表 大正六年(其一)

計	海	上
二六	三四	三
二二八	七六	七
七二	五三	七
七七	九四	七
三三五	一六	七
七〇	一一	七
一〇一	二七	七
四五三	四四	七
一二五	一一	七
八三	六四	七
一九二	六一	七
四九	二	七

郡名	大正三年		大正四年		大正五年		大正六年	
	發	生	患者	死亡	發	生	患者	死亡
安房								
夷隅								
君津								
長生								
山武								
市原								
千葉								
東葛								
印旛								
香取								

ウイルス氏病患者郡別累年表

備考  
 一、豫防液ハ普通豫防液ヲ使用ス  
 普通豫防液トハ培養基質タル「ゲラチン、寒天等ヲ除去セサルモノヲ云フ  
 一、豫防注射ハ地方開業醫ノ施行シタル一部分ノ成績ナリ

計	注射人員ニ對スル百分率
一、三二一	一、三二一
一六三	一、二〇四
二五八	一九・七
一二八	九・八
四・二	
一五	一・二

千	東	香	海	匝
葛	取	上	送	
飾				
市川町	日吉村	鶴巻村	須賀町	八市場
行徳町	多古城	龍郷村	八市場	平賀町
其他町	滑川町	其他町	其他町	其他町
計	計	計	計	計
一六五	二四七	一八	八六	一八
五	二七二	一四	一八	二四
一七〇	一一九	三三	二四	二四
二	五三九	二	二	二
二	二	六	六	六
二	二	二	二	二

### 豫防注射成績表

大正六年(其二)

郡名	町村名	注射人員	注射後ノ罹患者	注射セル者ノ罹患者
山武	大和村	一三		一四
	其他町	一三		一四
	計	二六		二八
印旛	大森町	一六二		二二
	其他町	一六二		二二
	計	三二四		四四

大正五年	注射人員ニ對スル百分率	合計	八日市場村	平和村	須賀村
一、三一一	一、〇六四	一、〇六四	一八	二四	八六
一二・四	四・八	五一			
一九・七	六・九	七二			
九・八	四・一	四四	一	八	
		一・五		一・〇	
		七一		一	
一・二					

備考  
 一、豫防疫ハ洗滌豫防疫ヲ使用ス  
 洗滌豫防疫トハ培養基質タル「ゲラチン、寒天等ヲ除去シタルモノヲ云フ  
 一、豫防疫ハ本廳委員ノ施行シタル全部ノ成績ナリ

小計	128		
君津			8
長生			2
合計	1064		50

備考 市川町ニハ八幡町ノ二〇ヲ含ム

### 盲人調査

由來本縣ニ於テハ「トラホーム」其ノ他ノ眼疾患多ク從ツテ失明者年々増加ノ傾向アリ之カ失明ノ原因ヲ調査救療スルノ必要ヲ認メ本年一月ヨリ左記ノ如ク調査ニ着手ス

### 調査方法

縣衛生課ニ於テ別紙盲人調査票用紙ヲ一定ニ縣下各警察官署ノ受持巡查ニ交付シ技術ニ關セサル事項ヲ調査記入セシメ受持巡查ノ調査終了後警察醫ヲシテ技術ニ渉ル部分ノ診査ヲ爲サシメ該當欄ニ記入報告セシメ之ヲ更ニ合表ノ上各事項ニ就テ尙精査スルコト

### 調査ノ主旨

不幸ナル盲目者ノ失明原因ヲ調査考究シ其ノ原因ヲ除去スル方法ヲ講シ同時ニ視力恢復(幾分ニテモ)ノ見込アル者ニ對シ相當治療ノ道ヲ講シ是等悲惨ナル不具者ヲ救濟セントス

### 調査ノ結果

本年一月來銳意之カ督勵ヲ爲スモ多數ノ患者加カモ一々其居宅ニ就キ診査ヲ行フ煩雜ナル爲メ未調査完了セサル爲メ結果發表ノ域ニ至ラス

盲人調査票		原籍縣那村町	現住所縣那村町	現職	女男	年 月 日生
發病ノ年齢	盲トナリシ時	盲トナリシ時ノ年齢	盲トナリシ時ノ住所	盲トナリシ以前ノ職業	血族關係	及既往症
分娩時(醫師、産婆)取扱有無	視力程度	現病名及豫防	失明原因	生活ノ程度	教育程度	自活ノ能否
其他參考事項	養育ノ種類	其他參考事項	備考	一、盲人ノ定義 兩眼ヲ使用シ三尺ノ距離ニ於テ手指ヲ算シ得サルモノトス	一、視力ノ程度 對的失明ノ者、光覺ヲ有スル者及指數ヲ辨シ能フ者トノ二三區別シ調査スルヲ便トス	